

## 平成 28 年度 京都大学オープンキャンパス研修報告

日時: 平成 28 年 8 月 9 日(火)  
場所: 京都大学 総合人間科学部、医学部、薬学部、文学部、農学部  
参加者: 舟入高校 1 年 14 名 2 年 3 名 計 17 名(男子 2 名、女子 15 名)  
引率者: 藤本桂輔 先生 PTA 中丸可陽

6:00 広島駅新幹線口コンコースにて安佐北中・高等学校 18 名の生徒と合流、合同の出発式。安佐北高の校長先生より激励のご挨拶をいただきました。

6:19 発のぞみ 110 号に乗車。皆が一斉に参考書等を開いてお喋りもせず勉強し始めました。



8:04 京都駅着。すぐにタクシー5 台に分乗し、京都大学正門前へ。全国から集まった学生や保護者達でキャンパス入口はごった返していました。受付で資料を受け取り、時計台の前で集合写真を撮った後、各自、希望する学部へ。人の多さに一瞬ひる

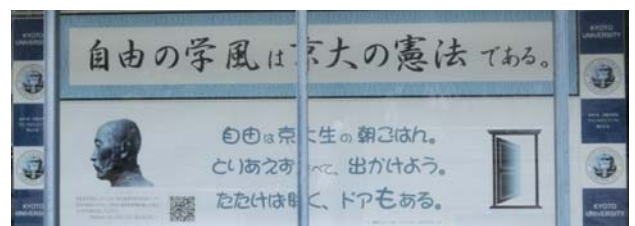


んで「どうしよう?」と言っていた生徒達も元気に出掛けて行きました。

シンボルの時計台は、どこから見ても美しく、歴史を感じさせます。緑豊かで、重厚で、かつ近代的な、これぞ大学というキャンパスは歩いているだけで楽しく、生徒達は数年後の自分の姿を、ワクワクしながら、この中に思い描いたものと思います。学内には併設の博物館まであって、流石は日本有数の大学だと思



いました。学食や売店も学内に何箇所もありました。



16:00 朝集まったクスノキ広場に集合。各自、希望する学部の講演会や実習に参加し、「楽しかった。」と興奮した様子で帰ってきました。



現役の学生達も実習の手ほどきやインフォメーションで



案内役を務め、学校を挙げてオープンキャンパスを盛り立てていました。

再び5台のタクシーに分乗し、駿台京都駅前校に移動。ここの教室をお借りして、基町高のオープンキャンパス参加者と共に、舟入高 OB、OG の京大生の話を聞きました。

その後、座談会形式でさらに突っ込んだ話を聞くことも出来たようです。



18:20 頃には京都駅に移動し、行きと同じく安佐北中・高等学校の生徒と合流し、一緒に19:10 発のぞみ 51 号に乗車。広島への帰途に着きました。車中では夕食もそこそこに研修のレポートをびっしりと書いていました。

20:51 広島駅着。解散式では、日浦校長先生にご挨拶いただきました。生徒達の顔つきが行きと帰りとは違っており、充実した一日を過ごした様子が伺えました。

この研修のためにご尽力いただきました先生方、見送り、出迎えをしてくださった先生方、引率してくださいました藤本先生に、心より厚く御礼申し上げます。



生活がどんなに大切かを再認識しました。

最後に一つ、印象に残った話を。駿台京都駅前校の校舎長曰く、日本の“出汁文化”は、素晴らしく、味噌汁等の汁ものを食べると、計算の正答率が30%上がり、さらには、かつおだしの良い匂いを嗅ぐだけでも力になるという研究データがあるらしいです。毎日の食卓を預かる身として、昔ながらの当たり前の食

PTA 常任理事 中丸可陽